

# 平成14年度香川県水産研究発表会(第8回)アンケート調査集計結果

浦山公治 研究主幹(増養殖部門)

漁業・養殖業に携わる人や指導機関など水産業に関係する方々に、調査研究の成果をお知らせするとともに、御意見等を直接お聞きし今後の試験研究に役立てるため、香川県水産研究発表会を年1回開催しております。発表内容等は[こちら](#)をご参照ください。→[第8回水産研究発表会要旨](#)  
 本年度も漁業関係者多数の出席を得て盛況でした。会場で行なったアンケート調査結果を報告します。

## 1. 出席状況 計58人

①漁業士・漁業者	8	⑧香川大学(農学部・工学部)	3
②漁協役職員	9	⑨岡山県水産試験場	1
③県漁連等系統団体役職員	4	⑩県環境保健研究センター	1
④農林中央金庫高松支店	1	⑪(社)日本栽培漁業協会屋島事業場	2
⑤(財)県水産振興基金	1	⑫香川県水産課	7
⑥(社)県水産振興協会	2	⑬その他	
⑦沿海市町	2	香川水試	15
		赤潮研究所	2

## 2. アンケート調査概要

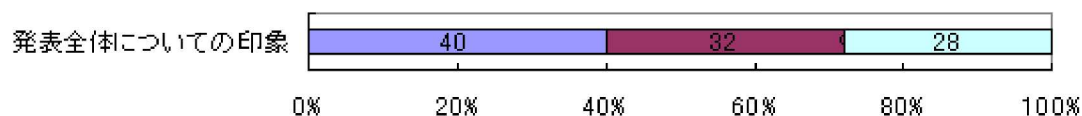
(実施日) 平成15年3月11日  
 (回答数) 25

## 3. 集計結果

(設問1) 本日の発表内容についての印象等をお聞かせください。該当するものに○印をしてください。

(1) 発表全体について

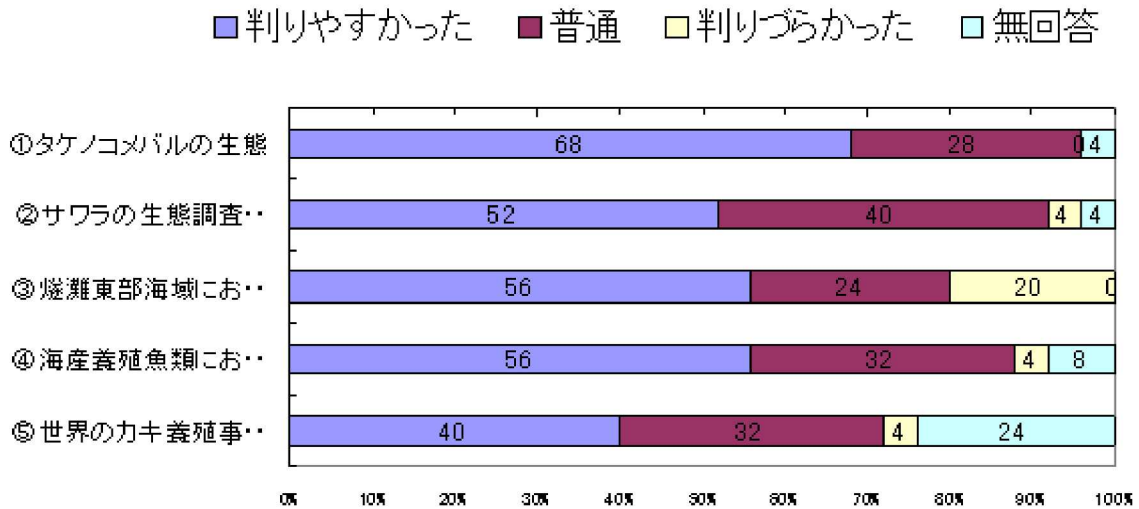
■ 良かった ■ 普通 ■ 良くなかった ■ 無回答



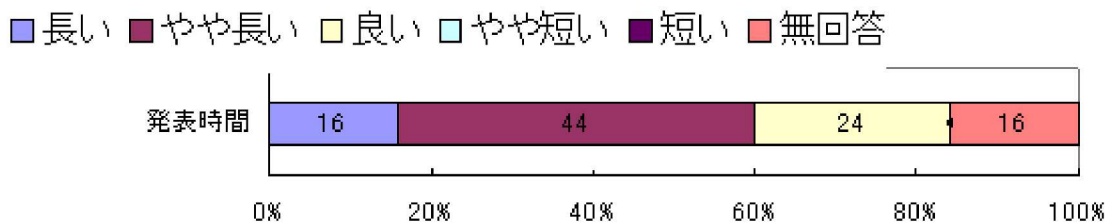
(書き込み意見)・全体にOHPの文字が小さく分かり辛い点がある。

(2) 個々の発表について

各発表について

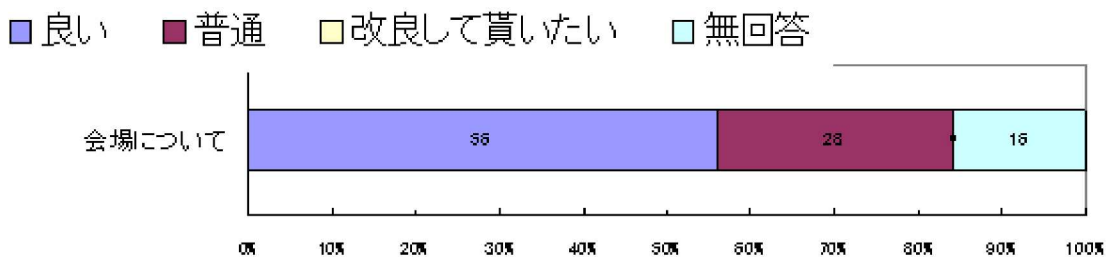


(3) 発表時間の長さについて



(書き込み意見)・長すぎる一人20分程度でよいと思う。

(4) 会場について



→ \* 開催場所や改良したらよい点などがありましたら、ご意見をお書きください。

(書き込み意見)

- ・交通の便が良いので漁連がよい(水試は交通の便が悪い)
- ・漁連が良い、休憩時間をとって欲しい(発表毎10分程度)。
- ・発表の数を少なめに。
- ・添付資料についてカラー印刷が良いのではないか(特に写真)。  
また、OHP等で発表する表などはあらかじめ資料として添付してほしい。
- ・場内で発表の練習をしてください
- ・OHPはもっと明るい方がよい(ランプの種類)。

(5) 今後どのような話題を発表したらよいか？ご希望があればお聞かせください。

(書き込み意見)

- ・厳しい環境(自然界)を受けての魚の生態と自然繁殖はどうか
- ・従来のままに海の回復と漁業者のための研究を！！
- ・ノリ色落ち問題。現在水試でどのような研究をされているかわかりません。  
このような質問をされるならば、テーマをあらかじめ書いていただき○印をつける方式にしてほしい。
- ・ノリ養殖、ユークンピア等の対策
- ・水産加工に関する情報・・・発表というよりも情報提供
- ・発表時間が長すぎる。集中力が切れた。
- ・漁業者への提案型の研究発表
- ・今年は小豆島付近でノリの色落ちが起きたそうですが、そのことについて詳しく聞きたいです。
- ・イタボガキ養殖or種苗生産
- ・瀬戸内のノリ養殖季(期)における栄養塩の低下が進行している原因究明を調査研究テーマで取り組んでほしい。

(設問2) 試験研究を効率的に推進するために次の6つの重点課題を掲げていますが、今後、あなたが特に重要だと思われる(希望する)研究テーマがありましたら、区分ごとに具体的にご記入ください。

(書き込み意見)

①水産資源に関する研究

- ・発育ステージ毎の行動特性の解明
- ・今まで通り減少傾向の魚種を！！回復
- ・サワラの放流と資源管理について
- ・底もの資源を増やす、保護する研究・調査

②栽培漁業に関する技術開発

- ・今まで通り減少傾向の魚種を！！回復
- ・タケノコメバルの県単協への配布
- ・タケノコメバルの放流効果について
- ・クルマエビの放流効果
- ・クルマエビ、ヒラメ、マコガレイ等の放流追跡調査

③養殖業に関する技術開発

- ・貝類の養殖、魚類の養殖は海を汚す類もあるため
- ・小豆島北部海面での地質(H14年度のノリ不作等について)
- ・ノリ色落ちの原因のプランクトンの駆除
- ・タケノコメバルの養殖について
- ・貝類の養殖種増

④漁場環境の保全等に関する研究

- ・物理場と生物環境との関係との関係の定量化、評価
- ・貧酸素水塊のような調査を全漁協に
- ・瀬戸内海の底質状況について
- ・底曳きの藻場環境への影響
- ・藻場等の保全回復
- ・閉鎖性海域に注ぐ河川のダム、せきの河口、干潟の生物への影響(生態系)
- ・自然海浜における水質浄化作業の継続的調査

⑤赤潮対策に関する研究

- ・発生のメカニズムの解明、ニューラルネットワークによる評価
- ・赤潮生物の補食生物について

⑥漁場の開発・造成に関する技術開発

- ・物理場と資源加入への条件との関係の定量的評価、造成適地選定に関する研究
- ・カキ殻できている漁礁のように海を汚さなくていいものを開発(して欲しい)
- ・藻場の分布状況について

#### その他

- ・カキのむき殻処理、利用に関するもの

(設問3) そのほか水産に関する試験研究について、ご意見や要望、感想などがあればご記入ください。

#### (書き込み意見)

- ・タケノコメバルの放流について藻場がある場合、少しでも分けてもらえる？  
配布する基準を聞きたいので電話をください。勉強になりました。

#### (回答)

タケノコメバルの放流についてはまだまだ試験段階であり、数量的にもわずかであることから、放流後の再捕状況などが把握しやすいと限られています。その結果を受けて放流場所の適正(藻場の有無など)を検討することとしています。

今後は生産尾数を増やす試験を予定しており、できるだけ早く栽培漁業対象種として希望の漁協に配布できる体制にもっていきたいと考えています。

- ・色々な試験研究をし、少しでも海の回復を！
- ・瀬戸内海の生産力(食物連鎖など)からみた、効果的な放流魚種・量等の研究について
- ・議題③燧灘の貧酸素水塊④マリンビルナウイルス⑤世界のカキ養殖は、専門分野なので意味がわからない。もっとわかりやすい議題にしたほうがいい。
- ・iモード等からの情報提供
- ・1の⑤(・瀬戸内のノリ養殖季(期)における栄養塩の低下が進行している原因究明)を早急に希望する

(設問4) アンケート回答者の属性

#### ①性別

男	女	無回答	計
14	1	10	25

#### ②年齢

～19才	～29	～39	～49	～59	～69	70以上	無回答	計
-	3	2	5	2	-	1	12	25

#### ③職業

漁業	漁協職員	系統団体職員	市町職員	大学	研究機関職員	無回答	計
5	4	1	1	2	2	10	25

アンケートに御協力ありがとうございました。また、貴重な御意見をいただきありがとうございました。いただいた御意見を踏まえまして、試験研究を推進するとともに、本研究会もより良いものにしたいので今後とも御協力よろしくお願ひします。